

令和5年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(国語) 科目：(現代文B) 対象：(第 3 学年 A組～ G組)

科目担当者：(A組:手塚)(B組:阿部)(C組:手塚)(D組:阿部)(E組:田山)(F組:田山)(G組:手塚)

教科・科目の 指導目標	・国語を通して思考力を伸ばすとともに、心情を豊かにし、言語感覚を磨く。
----------------	-------------------------------------

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>1、知識 評論に頻出する抽象概念を表す語の知識は概ね理解している。 小説の心情表現として用いられる慣用語の知識がやや不足している。</p> <p>2、文章読解 評論文について、文章表現の意図の理解はできている、一方で本文の要旨を捉えることが苦手である。 小説について、人物像や人間関係、状況把握の理解はできているが、登場人物の心情の正確な把握がやや不足している。</p>	<p>1、知識 毎週1回、小テストを行う。 また、評論に頻出する語の知識を定期考査ごとの範囲とし、学習を促す。</p> <p>2、文章読解 評論文について、文章構成や論理展開に留意させ、要旨をまとめる練習を重ねる。毎週1回速読のテキストに取り組み、時間内に正確に文章を読解する力を身につけさせる。</p> <p>小説について、表現方法に着目したうえで、登場人物の心情を正確に把握できる力を身に付けさせる。</p>	<p>クラスにより担当が異なるため、担当者同士の各単元ごとの綿密な事前協議が必要である。また、授業後の協議を通して教員間の共通理解を図り、更なる授業改善に努める。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			